



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 鳥羽洋行
コード番号 7472 URL <http://www.toba.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 三浦 直行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松永 健一

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

TEL 03-3944-4031

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	16,691	—	898	—	978	—	650	—
27年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 625百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	150.98	—
27年3月期第3四半期	—	—

(注)平成28年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	20,659	—	14,414	—	—	69.8
27年3月期	—	—	—	—	—	—

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 14,414百万円 27年3月期 1百万円

(注)平成28年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年3月期の数値は記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	100.00	100.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

28年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当60円00銭 記念配当40円00銭(創業110周年記念配当)

3. 平成28年 3月期の連結業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	21,500	—	1,050	—	1,150	—	750	—	—	173.97

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)平成28年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 鳥羽(上海)貿易有限公司、除外 1社 (社名)
(注)詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	5,000,000 株	27年3月期	5,000,000 株
28年3月期3Q	688,998 株	27年3月期	688,998 株
28年3月期3Q	4,311,002 株	27年3月期3Q	4,545,558 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成28年2月13日に個人投資家向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、前第 3 四半期連結累計期間は四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っていません。

(1) 経営成績に関する説明

当第 3 四半期連結累計期間の経済状況を概観しますと、米国経済は、雇用・所得環境の改善で緩やかな拡大基調で推移しました。欧州経済も、英国経済が堅調を維持し、ユーロ圏諸国におきましても加盟国が財政健全化に努めた結果、内需主導の回復基調で推移しました。一方、中国をはじめとする新興国経済は、中国経済の減速の影響により景気の後退色が濃くなっております。わが国経済は、日銀による量的・質的金融緩和策や原油価格下落による家計購買力の改善効果等で緩やかな回復基調が続いております。

このような経済状況下で当社は、国内国外を問わず多くの製造業においてコスト削減ニーズは増加しているため、設備の省力化や自動化に欠かせないFA機器や自動化装置等の提案・販売を積極的に推進いたしました。とりわけ北米中心に輸出が好調な自動車に関連する自動車・車載部品関連の得意先や、普及期が過ぎてやや一服感が出ているものの堅調な設備投資需要が見込めるスマートフォン、タブレット端末に関連する得意先を中心に販売を伸ばすことができました。

以上の結果、売上高は166億91百万円、営業利益は 8 億98百万円、経常利益は 9 億78百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は 6 億50百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第 3 四半期連結会計期間末（以下、「当四半期末」という）の自己資本比率は、69.8%となりました。

(資産)

当四半期末の総資産は、206億59百万円となりました。

流動資産は、158億62百万円となり、その主な内訳は、受取手形及び売掛金が77億52百万円、現金及び預金が70億69百万円、電子記録債権が 8 億48百万円となっております。

固定資産は、47億97百万円となり、その主な内訳は、投資その他の資産が27億86百万円、有形固定資産が19億29百万円となっております。

(負債)

当四半期末の負債合計は、62億45百万円となりました。

流動負債は、59億34百万円となり、その主な内訳は、支払手形及び買掛金が55億42百万円となっております。

固定負債は、3 億11百万円であり、特記すべき事項はありません。

(純資産)

当四半期末の純資産合計は、144億14百万円となりました。その主な内訳は、利益剰余金が128億80百万円、資本金が11億48百万円、資本剰余金が10億91百万円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年 3 月期の業績予想につきましては、平成27年 7 月27日付の当社「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」において発表しました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第 1 四半期連結会計期間より、重要性が増したことに伴い鳥羽(上海)貿易有限公司を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	7,069,818
受取手形及び売掛金	7,752,580
電子記録債権	848,247
商品	122,118
その他	73,407
貸倒引当金	△3,803
流動資産合計	15,862,368
固定資産	
有形固定資産	1,929,637
無形固定資産	80,879
投資その他の資産	2,786,906
固定資産合計	4,797,423
資産合計	20,659,791
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	5,542,526
未払法人税等	104,271
引当金	60,000
その他	227,202
流動負債合計	5,934,000
固定負債	
引当金	15,125
その他	296,226
固定負債合計	311,351
負債合計	6,245,352
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,148,000
資本剰余金	1,091,862
利益剰余金	12,880,693
自己株式	△1,246,609
株主資本合計	13,873,946
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	422,647
為替換算調整勘定	117,845
その他の包括利益累計額合計	540,493
純資産合計	14,414,439
負債純資産合計	20,659,791

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 3 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年12月31日)
売上高	16,691,942
売上原価	14,233,773
売上総利益	2,458,169
販売費及び一般管理費	1,559,302
営業利益	898,866
営業外収益	
受取利息	12,236
受取配当金	31,417
仕入割引	41,173
その他	10,211
営業外収益合計	95,039
営業外費用	
売上割引	2,169
為替差損	12,198
その他	705
営業外費用合計	15,073
経常利益	978,832
特別利益	
投資有価証券売却益	789
特別利益合計	789
税金等調整前四半期純利益	979,622
法人税、住民税及び事業税	294,011
法人税等調整額	34,721
法人税等合計	328,732
四半期純利益	650,889
非支配株主に帰属する四半期純利益	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	650,889

四半期連結包括利益計算書
第 3 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	650,889
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△12,608
為替換算調整勘定	△12,767
その他の包括利益合計	△25,376
四半期包括利益	625,513
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	625,513
非支配株主に係る四半期包括利益	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第 3 四半期連結累計期間(自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年12月31日)

該当事項はありません。